【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年10月16日
【会社名】	アジア開発キャピタル株式会社
【英訳名】	Asia Development Capital Co. Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　　綱屋　信介
【本店の所在の場所】	東京都中央区月島一丁目２番13号　ワイズビルディング４Ｆ
【電話番号】	03-5534-9614
【事務連絡者氏名】	企画管理部　　天神　雄一郎
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区月島一丁目２番13号　ワイズビルディング４Ｆ
【電話番号】	03-5534-9614
【事務連絡者氏名】	企画管理部　　天神　雄一郎
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町２番１号）

1【提出理由】

連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生したため、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第２項第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2019年９月27日（取締役会決議日）

(2) 当該事象の内容

当社の海外連結子会社である臻萃本物（福建）餐飲管理有限公司は、中国福建省福州市にて、日本食レストラン事業「臻萃本物ジャパン・フード・タウン」として、台湾取引所上場企業・大洋百貨集団有限公司（以下、「大洋百貨」といいます。）の協力のもと、中国福建省福州市に位置する大洋百貨・福州中城店の７階全フロアを使用し、日本食レストラン街を運営しております。

出店テナントは2018年５月より順次オープンし、同年９月30日までには全店舗がオープンいたしましたが、中国景気が減速し高価格帯の消費を中心に低迷する中、現地の消費水準・嗜好を的確に捉えることができず、目標売上・損益を達成できない状況が続いておりました。複数回にわたり、一部出店テナントの入れ替え、提供商品内容・価格の見直し等を実施し、中・低価格帯への転換を通じた売上の向上を試みてまいりましたが、出店テナント全９店舗のうち３店舗につきましては、業績改善の目途が立たず、これ以上の営業の継続が困難であると判断し、本年９月末をもって閉店し、日本食レストラン事業を縮小することを決定いたしました。

なお、営業を継続する６店舗につきましても、今後の業績を見極めたうえで、本年12月末までに、日本食レストラン事業の存続または完全撤退を判断することといたします。

出店テナント（全９店舗）

2019年９月末閉店（３店舗）

HonMono CAFÉ（スイーツ）
京都祇園小路（和食ラウンジ）
銀座長谷川（創作和食）

営業継続（６店舗）

大阪千房（お好み焼）
横浜家系拉麺 すずき家（豚骨ラーメン）
麺屋武一（鶏白湯ラーメン）
抹茶カフェ辻利茶舗（抹茶スイーツ）
焼肉料亭 神戸 明治庵（焼肉）
東京 聖 相撲鍋屋（牛鍋）

(3) 当該事象の連結損益に与える影響額

2019年９月末の３店舗閉店に伴う固定資産除却・原状回復により、2020年３月期第２四半期連結決算におきまして、約150百万円の特別損失を計上する見込みであります。

以 上